福知山線

福知山線とは

福知山線は、兵庫の尼崎から京都の福知山までを結ぶＪＲ西日本の路線である。愛称はJR宝塚線で、これの区間は大阪から篠山口である。また、2005年4月25日に起きた列車脱線事故の路線でもある。

主な車両

福知山線の種別は、普通・区間快速・快速・丹波路快速・特急で、使用車両は快速・普通では207系(網干総合車両所明石支所)･321系(網干総合車両所明石支社所)･223系6000番台(網干総合車両所宮原支所)･223系5500番台(福知山電車区)･225系6000番台(網干総合車両所宮原支所)で、特急は287系・381系である。

207系

7両編成で尼崎～篠山口間を運行している。JR西日本が民営化後に初めて設計した通勤型電車である。

223系(6000番台)

2008年から日中の丹波路快速を中心に、早朝や深夜は普通で運用されている。車両性能は、221系と同じで運転台にも「221系性能」と記されている。

225系(6000番台)

113系や221系の置き換えとして4両または6両編成で最高120km/hで走る列車。編成記号は４両編成の場合MY、6両編成の場合MLとなる。

321 系

7 両編成で尼崎～篠山口間を快速・普通で運転している。201 系・205 系の置き換えと、福知山線の脱線事故で大破した 207 系の補充のために製造された。2005 年 12 月より営業運転を開始した。

287 系

183 系(700 番台・600 番台)の置き換え用として 4 両編成 7 本と 3 両編成 6 本の計 46 両を 80 億円かけて導入した。現在は、「こうのとり」「きのさき」「はしだて」の一部列車と「まいづる」の大部分に使われている。

381 系

もとは「くろしお」で運用されていた車両で、福知山電車区には 40 両配置されている。

▲「こうのとり」の方向幕

▲篠山口～福知山間のすべての普通・快速列車は、この転換クロスシートが使われている。

感想

福知山線はあの事故があったから知っていたが、まさか 381 系が走っているとは思わなかった。やはり自然の風景の中で一番中に溶け込むのは国鉄型車両ではないのだろうか。筆者はそんな国鉄型車両が好きである。